

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2021-51152 (P2021-51152A)
 【公開日】令和 3 年 4 月 1 日 (2021.4.1)
 【年通号数】公開・登録公報 2021-016
 【出願番号】特願 2019-173111 (P2019-173111)
 【国際特許分類】

G 1 0 H 1/00 (2006.01)

G 1 0 H 1/02 (2006.01)

【F I】

G 1 0 H 1/00 1 0 2 A

G 1 0 H 1/02

【手続補正書】
 【提出日】令和 3 年 6 月 4 日 (2021.6.4)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 6】

実施形態によれば、電子楽器は、各タイミングで発音すべき伴奏音を指定する自動伴奏パターンに応じた伴奏音を順次発音させていき、前記自動伴奏パターンとは別に設定されている設定データが、前記自動伴奏パターンの第 1 タイミングに対応する楽音の発音状態を変更する第 1 設定を含む場合は、前記第 1 タイミングに対応する第 1 ユーザ操作に応じて発音させる楽音の発音状態を前記第 1 設定に基づいて変更する、処理を実行する。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

各タイミングで発音すべき伴奏音を指定する自動伴奏パターンに応じた伴奏音を順次発音させていき、

前記自動伴奏パターンとは別に設定されている設定データが、前記自動伴奏パターンの第 1 タイミングに対応する楽音の発音状態を変更する第 1 設定を含む場合は、前記第 1 タイミングに対応する第 1 ユーザ操作に応じて発音させる楽音の発音状態を前記第 1 設定に基づいて変更する、
処理を実行する 電子楽器。

【請求項 2】

前記設定データが、前記自動伴奏パターンの第 1 タイミングに対応する伴奏音の発音状態を変更する前記第 1 設定を含む場合は、前記第 1 タイミングに対応する伴奏音の発音状態を前記第 1 設定に基づいて変更するとともに、前記第 1 タイミングに対応する前記第 1 ユーザ操作に応じて発音させる楽音の発音状態を前記第 1 設定に基づいて変更する、 請求項 1 に記載の電子楽器。

【請求項 3】

前記設定データが、前記自動伴奏パターンの第 2 タイミングに対応する伴奏音の発音状

態を変更する設定を含まない場合は、前記第 2 タイミングに対応する伴奏音を、発音状態を変更せずに発音させるとともに、前記第 2 タイミングに対応する第 2 ユーザ操作に応じて発音させる楽音を、発音状態を変更せずに発音させる、請求項 2 に記載の電子楽器。

【請求項 4】

前記設定データが、前記自動伴奏パターンの第 2 タイミングに対応する伴奏音の発音状態を変更する前記第 1 設定とは異なる第 2 設定を含む場合は、前記第 2 タイミングに対応する伴奏音の発音状態を前記第 2 設定に基づいて変更するとともに、前記第 2 タイミングに対応する第 2 ユーザ操作に応じて発音させる楽音の発音状態を前記第 2 設定に基づいて変更する、請求項 2 または 3 に記載の電子楽器。

【請求項 5】

前記設定データは、
前記楽音に音響効果を付加するための効果付加データ、
設定されている第 1 音色を第 2 音色に変更するための音色変更データ、
ユーザ操作により指定される第 1 音量を第 2 音量に変更するための音量変更データ、
ユーザ操作により指定される第 1 音高を第 2 音高に変更するための音高変更データ、
のうち少なくともいずれか 1 つを含む、請求項 1 乃至 4 のいずれか一項に記載の電子楽器。

【請求項 6】

ユーザ操作に基づいて、ルート値と、コードタイプ値と、を決定し、
決定された前記ルート値と、前記コードタイプ値と、に基づいて、発音させる前記自動伴奏パターンの発音態様を決定する請求項 1 乃至 5 のいずれか一項に記載の電子楽器。

【請求項 7】

前記処理を実行するプロセッサと、
前記プロセッサにより指示された楽音を発音させる音源と、
ユーザによる演奏開始前から予め、前記自動伴奏パターンのデータと、前記設定データと、を記憶しているメモリと、
を備える、請求項 1 乃至 6 のいずれか一項に記載の電子楽器。

【請求項 8】

コード入力鍵盤と、前記コード入力鍵盤よりも高音側に設けられるメロディ入力鍵盤と、
を含む鍵盤を備え、
前記プロセッサは、
前記コード入力鍵盤へのユーザ操作に基づいて、前記自動伴奏パターンに応じた伴奏音の発音を前記音源に指示し、
前記メロディ入力鍵盤へのユーザ操作に基づいて指定された音高に応じた楽音を、前記設定データに基づく設定に基づいて発音するように前記音源に指示する、請求項 7 に記載の電子楽器。

【請求項 9】

電子楽器が、
各タイミングで発音すべき伴奏音を指定する自動伴奏パターンに応じた伴奏音を順次発音させていき、
前記自動伴奏パターンとは別に設定されている設定データが、前記自動伴奏パターンの第 1 タイミングに対応する楽音の発音状態を変更する第 1 設定を含む場合は、前記第 1 タイミングに対応する第 1 ユーザ操作に応じて発音させる楽音の発音状態を前記第 1 設定に基づいて変更する、
処理を実行する制御方法。

【請求項 10】

電子楽器のコンピュータに、
各タイミングで発音すべき伴奏音を指定する自動伴奏パターンに応じた伴奏音を順次発音させていき、
前記自動伴奏パターンとは別に設定されている設定データが、前記自動伴奏パターンの

第 1 タイミングに対応する楽音の発音状態を変更する第 1 設定を含む場合は、前記第 1 タイミングに対応する第 1 ユーザ操作に応じて発音させる楽音の発音状態を前記第 1 設定に基づいて変更する、
処理を実行させるプログラム。